

令和3年10月8日

PRESS RELEASE

脱炭素社会実現に向けた取組みをスタート

～カーボンニュートラルエネルギー活用開発の実施～

愛知県瀬戸市上陣屋町に拠点を置く株式会社ナリタテクノでは、2020年10月菅内閣総理大臣の所信表明演説において『2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す』との表明により、カーボンニュートラル社会の実現に向けたカーボンニュートラルエネルギーの燃焼技術の確立と工業炉への実用に向けた製品開発を行うために新燃焼実験棟の設立と、生産能力拡充を図る為に工場の増設工事にも着手した。

化石燃料に代わる新燃料として、合成メタン、アンモニア及び水素が検討されている。合成メタンであれば、従来の燃焼技術で問題無く対応が出来る。アンモニアは燃料ガスに窒素が多く含まれるため、燃焼時に多量のNO_xが生成される。また、とても取扱いが難しく燃えにくい燃料である。水素は燃焼範囲がとても広く燃やす事は安易に出来るが、燃焼時にNO_xが生成される事やデトネーション等の爆発燃焼等の危険性がある。当社では、カーボンニュートラルエネルギーの課題を解決しながら、40年以上培った燃焼技術を応用し開発を進め、カーボンニュートラルエネルギー用ガスバーナ開発とテスト炉の製作により、水素とアンモニアの燃焼に関する基本的な特性を理解し、工業炉でも活用できるように開発を進めていく。新しいエネルギー分野で脱炭素社会に貢献するべく研究開発を行うことを決めた。



燃焼実験棟と工場増設

新設燃焼実験室内

水素燃焼火炎

本リリースに関する問合せ先
株式会社ナリタテクノ 総務 神寺
TEL:0561-21-1111
E-mail: c-kamiji@naritatechno.co.jp